

仮名草子の形容詞

村田 菜穂子*¹ 前川 武*²**Adjectives in *Kanazoshi***Nahoko Murata*¹ Takeshi Maekawa*²

キーワード

形容詞、江戸時代、仮名草子、語彙表、語彙史

I はじめに

これまで、上代資料・八代集・中古散文作品から採取された形容詞について、それぞれの形容詞がどの資料でどのくらい使用されているかを対照語彙表の形にまとめ、その一方で、各形容詞について語構成を分析し、その結果を拙著『形容詞・形容動詞の語彙論的研究』(注¹)において前稿①「古代語形容詞の語構成」として公表した。

その後、調査対象を軍記物語・今昔物語集から狂言・キリシタン資料、擬古物語、中世の日記・紀行文へと拡大し、これらから採取された形容詞の対照語彙表(注²)の公表を続けてきた。

これと並行して軍記物語・今昔物語集の形容詞の語構成についての分析結果をまとめて前稿①を増補する形とし、同時に、前稿①の公表後に気づいた見落としや誤りを修正して、上代から中世に至る資料から採取した形容詞の語構成の分析結果を前稿②「改訂・増補 古代語形容詞の語構成－上代～中世編－」(注³)として改めて公表し直した。続いて、狂言・キリシタン資料、擬古物語および中世の日記・紀行文、芭蕉・蕪村・一茶の俳諧の形容詞の語構成についての分析結果を前稿③「狂言・キリシタン資料の形容詞の語構成」(注⁴)、前稿④「擬古物語および中世の日記・紀行文の形容詞の語構成」(注⁵)、前稿⑤「芭蕉・蕪村・一茶の俳諧の形容詞の語構成」(注⁶)として公表した。

さらに、江戸時代後期の洒落本全体の傾向を調査すべく、『日本語歴史コーパス 江戸時代編 I 洒落本』(注⁷)を用いて、どのような形容詞がどれくらい使用されているかが一覽できる対照語彙表を前稿⑥「江戸時代後期の洒落本の形容詞」(注⁸)として公表した。

本稿では、江戸時代初期の仮名草子に焦点をあて、『伊曾保物語』『きのふはけふの物語』『醒睡笑』『身の鏡』の4作品を取り上げ、どのような形容詞がどの作品にどれくらい使用されているかが一覽できる形式にて対照語彙表を作成した。

*1 むらた なほこ：大阪国際大学国際教養学部教授 (2018.12.7受理)

*2 まえかわ たけし：大阪国際大学短期大学部教授

Ⅱ 凡例

[1] 見出し語の配列

歴史的仮名遣いにより五十音順に配列する。

[2] 見出し語形の統一

意味の違いに関係しない読み方・発音の違いは同一語とみなし合併して採る。同一語・別語の認定は『古語大事典』〔小学館〕・『日本国語大辞典』〔小学館〕に拠る。

①子音交替形または母音交替形

例：ねむたし⇔ねぶたし (m⇔b)

②撥音の表記に関わるもの

例：やごとなし⇔やむごとなし

③促音を挿入したもの

例：にっくし⇔にくし

④その他

例：ゆきがたし⇔いきがたし

[3] 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語および接頭辞が付いた語の扱い

助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語形、および接頭辞が付いた語形は次のように扱った。

- (1) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が存在する場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語と合併して採る。

例…つきもなし → つきなし、きょくもなし → きょくなし等。

- (2) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が存在しない場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形を仮の語形として設定し立てる。

例…せんかたなし → するかたなし等。

- (3) 接頭辞の付いた語の扱い

例…おなごりをし → なごりをし、ごもったいなし → もったいなし
のように、接頭辞を外した語形で採る。

[4] 複合語の扱い

名詞+形容詞（例…よふかし・しふしんふかし）や動詞連用形+形容詞（例…をりがたし・はひりにくし）等は切り離さず複合的な単位として認め、一語として扱う方針によって形容詞を選出した。これは、形容詞の造語法として複合語の産出が新語形成の一端を担っている事実を重視したことに拠る。

[5] 漢字

各形容詞の主な意味を表すために適宜振ったもの。

[6] 活用

各見出し語がそれぞれ何活用の形容詞であることを示したもの。

[7] 新出

江戸時代初期の仮名草子にて初めて出現した形容詞がわかるように新出の語には「○」を記した。

[8] 作品ごとの出現数

各見出し語がそれぞれの作品で出現した数を示したもの。表中の作品名は「はじめに」の下線部で示したもので記した。

[9] 既存の十三資料における出現状況

各見出し語がどの資料に使われているかを簡潔に示すべく、その見出し語が使われた資料に○を施した。

十三資料とは、【上代資料】【訓点資料】【八代集】【中古散文作品】【今昔物語集】【軍記物語】【擬古物語】【中世の随筆・説話集】【中世の日記・紀行文】【狂言】【キリシタン資料】【俳諧】【洒落本】を指す。(表中では、下線部で示したもので表記した) なお、各資料に含まれる作品は次のとおりである。

【上代資料】

『時代別国語大辞典上代編』に立項されている形容詞のうち、東歌・防人歌に使われている東国語方言の語や複合形容詞中にのみその存在が確認される語を除き、万葉集・古事記(仮名書き部分)・日本書紀(同)・風土記(同)・続日本紀宣命・祝詞に用例のあるものを上代形容詞として認めた。

【訓点資料】

『興福寺本大慈恩寺三蔵法師伝古点』『神田本白氏文集卷第三・四』『高山寺本古往来』

【八代集】

『古今集』『後撰集』『拾遺集』『後拾遺集』『金葉集』『詞花集』『千載集』『新古今集』

【中古散文作品】

『竹取物語』『土佐日記』『伊勢物語』『平中物語』『大和物語』『多武峯少将物語』『篁物語』『宇津保物語』『蜻蛉日記』『落窪物語』『和泉式部日記』『枕草子』『源氏物語』『紫式部日記』『堤中納言物語』『夜の寝覚』『浜松中納言物語』『更級日記』『狭衣物語』『大鏡』『讃岐典侍日記』『とりかへばや物語』

【今昔物語集】

『今昔物語集』

【軍記物語】

『保元物語』『平治物語』『平家物語』

【擬古物語】

『松浦宮物語』『山路の露』『風に紅葉』『木幡のしぐれ』

【中世の随筆・説話集】

『徒然草』『方丈記』『発心集』『選集抄』『十訓抄』

【中世の日記・紀行文】

『海道記』『東関紀行』『うたゝね』『とはずがたり』『竹むきが記』

【狂言】

『天正狂言本』『虎明本狂言集』『虎清本狂言集』『狂言六義』『狂言記』

【キリシタン資料】

『天草本平家物語』『天草版伊曾保物語』『天草版金句集』『懺悔録』

【俳諧】

『芭蕉・蕪村発句総索引 本文索引編』^(注9) 所収の発句

『一茶全集 第1巻 発句』^(注10) 所収の発句

【洒落本】

『聖遊廓』『月花余情』『新月花余情』『陽台遺編・舳閣秘言』『異本郭中奇譚』

『短華蘂葉』『北華通情』『南遊記』『粋の曙（当世粋の曙）』『色深狹睡夢』

『原柳巷花語』『無論里問答』『風流裸人形』『阿蘭陀鏡（青楼阿蘭陀鏡）』

『昇平楽』『嘘之川（当世嘘之川）』『竊潜妻（滑稽酔言竊潜妻）』

『誰が面影（浮世滑稽誰が面影）』『箱まくら（河東方言箱まくら）』『興斗月』

『郭中奇譚』『俠者方言』『南閩雑話』『甲馱新話』『当世左様候』『深川新話』

『絵籬』『仕懸文庫』『花街鑑（玉菊全伝花街鑑）』

『花街寿々女（廓鑑余興花街寿々女）』

Ⅲ 調査に際して使用した資料

『仮名草子 伊曾保物語用語索引』^(注11)

『きのふはけふの物語研究及び総索引』^(注12)

『醒睡笑 静嘉堂文庫蔵 索引編』^(注13)

『仮名草子『身の鏡』総索引』^(注14)

【付記】

本稿は、日本学術振興会平成28-30年科学研究費補助金（基盤研究（C）、課題番号16K02746）による研究成果の一部である。

注1 [2005・11和泉書院]。元は、『大阪国際女子大学紀要』27-1 [2001・9]。拙著には、「古代語形容詞の語構成」（別表一）のほか、「八代集の形容詞対照語彙表」（別表二）「中古散文作品の形容詞対照語彙表」（別表二）、「訓点資料の形容詞の語構成」（参考資料）を載せている。

注2 ①「軍記物語の形容詞対照語彙表」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』21-3 [2008・3]）、②「今昔物語集の形容詞対照語彙表一天竺・震旦部」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』22-3 [2009・3]）、③「今昔物語集の形容詞対照語彙表一本朝仏法部」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-1 [2009・10]）、④「今昔物語集の形容詞対照語彙表一本朝世俗部」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-2 [2010・1]）、⑤「『形容詞対照語彙表』補遺」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-2 [2010・1]）、⑥「改訂・増補 古代語形容詞逆引き対照語彙表——上代～中世編——（前編）」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』24-3 [2011・3]）、⑦「改訂・増

仮名草子の形容詞

補 古代語形容詞逆引き対照語彙表——上代～中世編——（後編）」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-1 [2011・10]）、⑧「『時代別国語大辞典 室町時代編』の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-2 [2012・1]）、⑨「『邦訳 日葡辞書』の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』26-1 [2012・10]）、⑩「狂言の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』27-2 [2014・1]）、⑪「キリシタン資料の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』27-3 [2014・3]）⑫「擬古物語の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』29-1 [2015・10]）、⑬「中世の日記・紀行文の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』29-2 [2016・1]）

注3 『帝塚山学院大学日本文学研究』41 [2010・2]

注4 「狂言・キリシタン資料の形容詞の語構成」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』29-1 [2015・10]）

注5 「擬古物語および中世の日記・紀行文の形容詞の語構成」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』29-3 [2016・3]）

注6 「芭蕉・蕪村・一茶の俳諧の形容詞の語構成」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』31-1 [2017・10]）

注7 国立国語研究所（2018）『日本語歴史コーパス 江戸時代編 I 洒落本』http://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/chj/edo.html（2018年7月5日確認）

注8 「江戸時代後期の洒落本の形容詞」（『大阪国際大学紀要国際研究論叢』32-1 [2018・10]）

注9 道本武彦、谷地快一 著 [1983・1、角川書店]

注10 信濃教育会 編 [1979・8、信濃毎日新聞社]

注11 横山英 監修 [1975・10、白帝社]

注12 北原保雄 編著 [1973・2、笠間書院]

注13 岩渕匡 編著、桑山俊彦・細川英雄 著 [1998・5、笠間書院]

注14 宮田裕行 編 [1986・1、新典社]

NO.	見出し語	漢字	活用	新出	きのふ	伊曾保	醒睡笑	身の鏡	上代	訓点	八代	散文	今昔	軍記	擬古	随筆・説話	日記・紀行	狂言	キリ	俳諧	洒落
1	あいだてなし	愛立無	ク	○			1														
2	あいなし	赤	ク				1														
3	あかし	明	ク		1		7														○
4	あかるし	明	ク	○			1														○
5	あきらけし	明	ク				2														
6	あさし	浅	ク				1	3													○
7	あさまし	浅	シク		2	1	10	3													○
8	あし	悪	シク		5	2	24	27													○
9	あたらし	新	シク				1	8													○
10	あぢきなし	味気無	ク				2														○
11	あつし	暑・熱	ク		1	6	5														○
12	あつし	厚・敦	ク				1														○
13	あはし	淡	ク				1														○
14	あはれし	憐・哀	シク				1														○
15	あぶなし	危	ク		3	1	1	1													○
16	あまし	甘	ク				5														○
17	あまねし	遍・普	ク				2														○
18	あやし	靈異・奇・怪	シク				9	8													○
19	あやふし	危	ク				4	1													○
20	あらげなし	荒気	ク					3													○
21	あらし	荒・疎	ク		1	1	6														○
22	ありがたし	有難	ク		4	2	9														○
23	あをし	青	ク		1		3														○
24	いかし	蔽	シク				8														○
25	いかめし	蔽	シク		1		2														○
26	いそがし	忙	シク				1														○
27	いそがはし	忙	シク				3	1													○
28	いたし	痛・甚	ク				3	8													○
29	いたたつかはし	労	シク	○			2														○
30	いたはし	劣	シク		1		5														○
31	いちしるし	著	ク				1														○
32	いちはやし	逸早	ク				1														○
33	いづくし	蔽	シク				7														○
34	いづくともなし		ク				2														○

仮名草子の形容詞

NO.	見出し語	漢字	活用	新出	きのふ	伊曾保	醒睡笑	身の鏡	上代	訓点	八代	散文	今昔	軍記	擬古	随筆・説話	日記・紀行	狂言	キリ	俳諧	洒落
35	いつちなし		ク			1										○					
36	いつほりがまし	偽	シク	○				1													
37	いとけなし	幼	ク			2	3	3		○	○	○		○			○		○		○
38	いとし	愛	シク				2	1				○						○		○	
39	いとどし		シク					1			○	○									
40	いとどし	劣・愛	シク			1	3		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
41	いのちながし	命長	ク									○									
42	いはれなし	謂無	ク			1										○					
43	いひがたし	言難	ク				1			○											
44	いまいまし	忌忌	シク				3				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	いまだし	未	シク				1					○									
46	いみじ		シク			16	5					○	○	○	○	○	○	○	○		○
47	いやし	賤・卑	シク			15	6	1	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
48	いりがたし	入難	ク			2						○									
49	いりやすし	入易	ク			2							○								
50	うかみがたし	浮難	ク	○	1																
51	うし	憂	ク			1	10		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	うすし	薄	ク						○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	うたがひなし	疑無	ク				6					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	うつくし	愛・美	シク		6	2			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	うつつなし	現無	ク		2																
56	うとうとし	疎疎	シク					1	1												○
57	うとし	疎	ク				2	1				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	うとまし	疎	シク			1						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	うまし	旨・甘・美・味	ク				2		○												○
60	うらめし	恨・悋	シク		1				○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	うらやまし	羨	シク			3		1				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	うるさし		ク				3														○
63	うるはし	麗・美	シク				1		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	うれし	嬉・歓	シク		1	4	14		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	おくふかし	奥深	ク				1					○									○
66	おくゆかし		シク				1	1				○									○
67	おそし	遅・鈍	ク		1		15	1	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	おそろし	恐	シク				9					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

国際研究論叢

NO.	見出し語	漢字	活用	新出	きのふ	伊曾保	醒睡笑	身の鏡	上代	訓点	八代	散文	今昔	軍記	擬古	隨筆・ 説話	日記・ 紀行	狂言	キリ	俳諧	洒落
69	おだめし		シク	○			1														
70	おとなし	大人	シク				1														○
71	おなじ	同	シク		4	5	52	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	おびたし	夥	シク			2	4														○
73	おほし	多・大	ク		1	7	37		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	おほし	思	シク				2														○
75	おほつかなし	覚東無	ク		2				○												○
76	おもし	重	ク		1	5	8	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	おもしろし	面白	ク		5		38	5	○												○
78	おもはし	思	シク				1														○
79	およびがたし	及難	ク			1															○
80	およびなし	及無	ク				2														○
81	かうばし	香	シク				6			○											○
82	かかはゆし		ク	○			1														○
83	かぎりなし	限無	ク			13	6	2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	かくれなし	隠無	ク			2		2													○
85	かしこし	恐・畏・賢	ク			6	7		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	かたし	固・堅	ク		1	3	5														○
87	かたし	難	ク				3														○
88	かたじけなし	辱・忝	ク		9		11														○
89	かたはらいたし	傍痛	ク				2														○
90	かなし	悲・哀・愛	シク			3	17		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	かひがひし	甲斐甲斐	シク			1		1													○
92	かひなし	甲斐無	ク			3															○
93	かまびすし	喧・驚	ク			1	3														○
94	かゆし	癩・癢	ク			1			○												○
95	からし	辛・鹹・酷	ク			1	1	1	○												○
96	かるし	軽	ク		1		3														○
97	かろがろし	輕輕	ク			1															○
98	かろし	軽	ク			6	5	2		○											○
99	きうめいがたし	礼明	ク	○		1															○
100	きにくし	間難	ク				3														○
101	ききよし	間好	ク				1		○												○
102	きこつなし		ク	○			1														○

仮名草子の形容詞

NO.	見出し語	漢字	活用	新出	きのふ	伊曽保	種睡笑	身の鏡	上代	訓点	八代	散文	今昔	軍記	擬古	隨筆・ 説話	日記・ 紀行	狂言	キリ	俳諧	洒落
103	きたなし	汚穢・濁・穢	ク		1	1	4		○		○	○	○	○		○		○		○	○
104	きつし		ク		1													○	○		
105	きはまりなし	極無	ク			2				○		○	○			○	○		○		○
106	きよし	清	ク				3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
107	くさし	臭	ク		6		1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
108	くちをし	口惜	シク		1		2					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
109	くどし		ク				1											○			
110	くまなし	隅無	ク				2				○	○	○	○	○	○	○				
111	くもくさし	雲臭	ク	○			1														
112	くやし	梅	シク				2		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
113	くらし	暗	ク				10		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
114	くろし	苦	シク		4		22		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
115	くろし	黒	ク		1	1	6		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
116	けだかし	氣高	ク		1	1	1														
117	けつしがたし	決難	ク	○		2															
118	けはし	険	シク				2			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
119	けぶりくさし	煙臭	ク	○	1																
120	こちあし	心地悪	シク			2						○									
121	こころあさし	心浅	ク					3				○	○								
122	こころうし	心憂	ク			1						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
123	こころうれし	心嬉	シク		1																○
124	こころえがたし	心得難	ク				1					○	○		○	○					
125	こころかるし	心軽	ク			1					○	○									
126	こころこほし	心強	ク				1				○	○				○					
127	こころながし	心長	ク				1				○	○			○	○					
128	こころなし	心無	ク			1	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
129	こころふかし	心深	ク				2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
130	こころやすし	心安	ク		2	2	7	3			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
131	こころよし	快	ク			1		1		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
132	こざかし	小賢	シク				10														○
133	こし	濃	ク		1		5				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
134	ござんちかし	御前近	ク	○	1																
135	こだかし	木高	ク				1		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
136	ことごとし	事事	シク		2		1				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

NO.	見出し語	漢字	活用	新出	きのふ	伊曾保	醒睡笑	身の鏡	上代	訓点	八代	散文	今昔	軍記	擬古	隨筆・ 説話	日記・ 紀行	狂言	キリ	俳諧	洒落
137	こぬるし	小温	ク	○				1													
138	このまし	好	シク			1						○	○				○			○	○
139	こはし	強	ク			2	4		○			○					○			○	○
140	こひがたし	恋難	ク	○			1														
141	こひし	恋	シク		1		6		○								○			○	○
142	さうなし	左右無・双無	ク				4														
143	さかし	賢	シク			1	5		○			○					○				
144	さがなし	不祥・悪	ク					1	○			○									○
145	さしにくし	差難	ク	○				1													
146	さびし	寂・淋	シク				5		○			○					○			○	○
147	さむし	寒	ク				8		○			○					○			○	○
148	さもとらし		シク	○			2														
149	さもとらし	清・分明	ク		1				○			○					○				
150	さがりがたし	去難・避難	ク				3					○					○				
151	しげし	繁・茂	ク		1		5		○			○					○			○	○
152	したし	親	シク		1	9	1	6				○					○			○	○
153	しのびがたし	忍難	ク			1						○					○				
154	じぶふかし	慈悲深	ク																		
155	しほらし	萎	シク				3														○
156	しりがたし	知難	ク			1						○					○			○	○
157	しりやすし	知易	ク	○			1														
158	しるし	知・灼・著	ク				1		○			○					○			○	○
159	しろし	白	ク			2	15		○			○					○			○	○
160	しわし	吝	ク				3														
161	すくなし	少	ク		1	2			○			○					○			○	○
162	すざまし	凄	シク				1					○					○			○	○
163	すし	酸	ク				5					○									○
164	すしくさし	鮫臭	ク	○			1														
165	すずし	冷・涼	シク			1		2	○			○					○			○	○
166	すみにくし	住難	ク				1					○					○				
167	すみよし	住良	ク				2					○									
168	するかたなし	為方無	ク			7	13	1				○					○			○	○
169	せばし	狭	ク				3		○			○					○			○	○
170	ぜびなし	是非無	ク					1													○

仮名草子の形容詞

NO.	見出し語	漢字	活用	新出	きのふ	伊曾保	種睡笑	身の鏡	上代	訓点	八代	散文	今昔	軍記	擬古	隨筆・ 説話	日記・ 紀行	狂言	キリ	俳諧	洒落
171	せんなし	詮無	ク				7							○	○	○	○				○
172	そらおそろし	空恐	シク		1							○	○	○	○	○	○				
173	そらばづかし	空恥	シク				1					○			○						
174	ぞんじなし	存知無	ク		1	1												○			
175	だいいじなし	大事無	ク				1											○			
176	たかし	高	ク			12			○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
177	たくまし	快・逞	シク			1	2			○				○	○	○	○				○
178	たけし	武・猛	ク			5	2		○		○			○	○	○	○				○
179	たのし	楽	シク				3		○		○			○	○	○	○				○
180	たのもし	頼	シク		1		2		○		○			○	○	○	○				○
181	たふとし	賈・尊	ク				10	1	○	○				○	○	○	○				○
182	たへがたし	堪難	ク				1			○				○	○	○	○				
183	ためしなし	例無	ク				1					○		○	○	○	○				
184	たやすし	頼・容易	ク		1	6	2		○					○	○	○	○				○
185	たよりなし	便無	ク			2						○		○	○	○	○				○
186	ちかし	近	ク			4	17	1	○	○				○	○	○	○				○
187	ちひさし	小	ク		1	1	10		○	○				○	○	○	○				○
188	つかひよし	使良	ク				1					○			○	○	○				
189	つきなし	付無	ク				2				○				○	○	○				
190	つけがたし		ク	○		1															
191	つたなし	怯・拙	ク			8			○	○				○	○	○	○				○
192	つちくさし	土臭	ク	○			1														
193	つつがなし	無慈・無事	ク			3	3		○												○
194	つつまし	慎	シク		1						○				○	○	○				○
195	つよし	強	ク				5		○		○			○	○	○	○				○
196	つらし	辛	ク				1		○		○			○	○	○	○				○
197	つれなし	無情	ク		2						○			○	○	○	○				○
198	とうかんなし	等閑無	ク				1														○
199	どうしんなし	同心無	ク	○																	
200	ところせし	所狭	ク		1				○	○				○	○	○	○				○
201	とし	利・敏・疾	ク				21		○	○				○	○	○	○				○
202	ととのえがたし	調難	ク				1														○
203	ととのひがたし	調難	ク	○			1														
204	とほし	遠	ク			2	8		○	○				○	○	○	○				○

NO.	見出し語	漢字	活用	新出	きのふ	伊曾保	醒睡笑	身の鏡	上代	訓点	八代	散文	今昔	軍記	擬古	隨筆・説話	日記・紀行	狂言	キリ	俳諧	洒落
205	ともし	乏	シク			2	3		○	○		○	○	○	○	○		○			
206	ながし	長	ク		5	2	23		○	○		○	○	○	○	○		○			○
207	なさけなし	情無	ク			1	1					○	○	○	○	○		○			○
208	なさけふかし	情深	ク			1						○	○	○	○	○					○
209	なし	無	ク		53	123	537	80	○	○		○	○	○	○	○		○			○
210	なつかし	懐	ク				2		○			○	○	○	○	○		○			○
211	なにごろなし	何心無	ク			1						○	○	○	○	○					○
212	なほし	直	ク				2			○		○	○	○	○	○					○
213	なまめでたし	生愛	ク	○			1														
214	ならびなし	並無・双無	ク			5				○		○	○	○	○	○		○			○
215	なりがたし	成難	ク					2		○		○	○	○	○	○		○			○
216	なんなし	難無	ク					1				○	○	○	○	○		○			○
217	にがし	苦	ク				2	1													○
218	にがにがし	苦苦	シク				2	1						○	○	○	○	○	○		○
219	にくし	憎	ク		2	3	12		○			○	○	○	○	○		○			○
220	ぬるし	温	ク		1				○			○	○	○	○	○		○			○
221	ねたまし	妬	シク			2							○	○	○	○					○
222	のがれがたし	遁難	ク			1	1	3				○	○	○	○	○		○			○
223	のこりおほし	残多	ク		2						○	○	○	○	○	○		○			○
224	のこりすくなし	残少	ク		1						○	○	○	○	○	○		○			○
225	のこりなし	残無	ク				1				○	○	○	○	○	○		○			○
226	のべがたし	述難	ク		1		1														
227	のみにくし	飲難	ク	○			1														
228	はかなし	果無・果敢無	ク			4	1	1				○	○	○	○	○		○			○
229	はかりがたし	量難	ク			2				○			○	○	○	○		○			○
230	はかりなし	計無・量無	ク				2					○	○	○	○	○		○			○
231	はげし	激・烈	シク			1		1		○		○	○	○	○	○		○			○
232	はしたなし	端	ク				1					○	○	○	○	○		○			○
233	はちがはし	恥	シク	○			1														○
234	はづかし	恥	シク		1	2	8	2	○			○	○	○	○	○		○			○
235	はなはだし	甚	シク			1	2			○		○	○	○	○	○		○			○
236	はやし	早・速	ク		2	3	16	2	○			○	○	○	○	○		○			○
237	はれがたし	晴難	ク				1			○								○			○
238	はれがまし	晴	シク				9					○						○			○

仮名草子の形容詞

NO.	見出し語	漢字	活用	新出	きのふ	伊曾保	種睡笑	身の鏡	上代	訓点	八代	散文	今昔	軍記	擬古	随筆・ 説話	日記・ 紀行	狂言	キリ	俳諧	洒落	
239	ひきあげがたし	引上難	ク			1																
240	ひさし	久	シク		7	8	15	1	○										○		○	
241	ひだるし		ク				1												○		○	
242	ひとし	等・斉	シク			6	3	3											○		○	
243	びびし	美美	シク				1															
244	ひまなし	隙無・暇無	ク				1	1														
245	ひろし	広	ク				6		○													
246	ふかし	深	ク		7	13	25	3	○												○	
247	ふたごころなし	二心無	ク			1																
248	ふとし	太	ク			1	2		○												○	
249	ふるし	古・旧	ク			1			○												○	
250	ほし	欲	シク		4		12		○												○	
251	ほしし	欲	シク	○			1															
252	ほぞし	細	ク		1	3	2		○												○	
253	ほどちかし	程近	ク				1							○								
254	ほどとほし	程遠	ク				1															
255	ほどなし	程無	ク				1	1													○	
256	まぎらはし	紛	シク				1															○
257	まぎれなし	紛無	ク				1															
258	まことし	実	シク				1															
259	まさし	正	シク				1	1														○
260	またし	全・完	ク		1		3		○													○
261	まづし	貧・貧窮	シク				3	1	3	○											○	○
262	まるし	丸	ク					1														○
263	みきはめがたし	見極難	ク	○				1														
264	みぐるし	見苦	シク		1	3	2	3														○
265	みじかし	短	ク		1		12	4	○													○
266	みしりにくし	見知難	ク		1																	○
267	みすぼらし	身卑	シク	○				1														○
268	みだれがはし	乱	シク				1															
269	みぢかし	身近	ク					2														
270	みちなし	道無	ク					1														○
271	みにくし	醜	ク				6		○													○
272	みみとほし	耳遠	ク	○	1																	

国際研究論叢

NO.	見出し語	漢字	活用	新出	きのふ	伊曾保	種暉笑	身の鏡	上代	訓点	八代	散文	今昔	軍記	擬古	隨筆・説話	日記・紀行	狂言	キリ	俳諧	洒落
273	みめよし	見目良	ク				3							○		○					
274	むさし	穢	ク				2									○			○	○	○
275	むつかし	難	シク				7	2								○			○	○	○
276	むつまし	親・睦	シク		1		1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
277	むなし	空・虚	シク			6	5		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
278	めづらし	珍	シク		3		28		○							○			○	○	○
279	めでたし	愛	ク		5	13	27	2								○			○	○	○
280	めんぼくなし	面目無	ク		1											○			○	○	○
281	もとめがたし	求難	ク			2		1											○		
282	ものうし	物憂	ク				1				○					○			○		
283	ものぐるはし	物狂	シク				1									○			○		
284	ものさびし	物寂	シク				1									○			○		○
285	ものさわがし	物騒	シク			1										○			○		○
286	ものすさまじ	物凄	シク				2												○		
287	ものふかし	物深	ク				1														
288	ものほし	物欲	ク				1													○	
289	やさし	恥・優	シク		6		7		○		○					○			○	○	○
290	やすし	安・易	ク		5	18	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
291	やはらかし	柔	ク	○			1														
292	やむごとなし	止事無	ク			3															
293	やるかたなし	遣方無	ク			1															
294	ゆかし		シク				4														
295	ゆゆし	斎忌・忌	シク				1		○		○					○			○	○	○
296	ゆるがせなし	忽無	ク	○			1														
297	ゆるし	緩	ク				1														
298	よし	良・好・善	ク		41	48	1	43	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
299	よしなし	由無	ク			10															
300	よろし	宜	シク				3														
301	よわし	弱	ク				2														
302	わかし	若	ク		7	6	21	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
303	わきまへやすし	弁易	ク	○		1															
304	わすれがたし	忘難	ク		2																
305	わびし	侘	シク				1				○										
306	わるし	悪	ク		2																

仮名草子の形容詞

NO.	見出し語	漢字	活用	新出	きのふ	伊曾保	醒睡笑	身の鏡	上代	訓点	八代	散文	今昔	軍記	擬古	隨筆・ 説話	日記・ 紀行	狂言	キリ	俳諧	洒落
307	わろし	悪	ク			1	8	1		○		○	○	○	○	○	○	○		○	
308	をかし	可笑・可笑	シク			6	20					○	○	○	○	○	○	○		○	○
309	をさなし	幼	ク		1	1	3					○	○	○	○	○	○	○		○	○
310	をし	惜・愛	シク		6	1	11	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○

